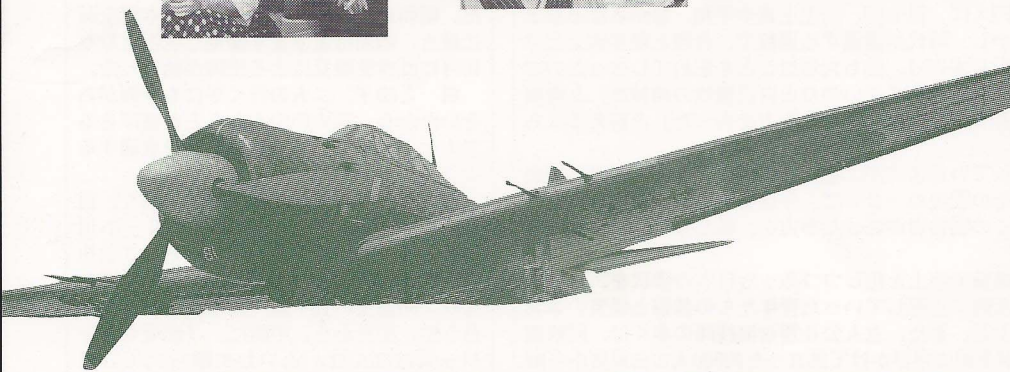


八月の暑い空

最後の特攻隊



監督 大塚莞爾

脚本
井上誠吾

キャスト
坂上 忍

本田博太郎
廣田好美
洲矢晋吾
本城丸裕
鈴木秀明

富田浩太郎
(特別出演)

(株)フィルム・クレッセント

解説

あすなる映画第六弾「最後の特攻隊・八月の暑い空」は、太平洋戦争が終息してから50周年を迎えた歴史の節目にちなんで、あの戦争の悲劇を二度とくりかえすことなく永遠の平和を願う私たち人類の祈りをこめて製作した作品です。

昭和20年（1945年）8月15日、日本の無条件降伏をもって終結した太平洋戦争の戦禍に散った日本人の死者数2,400万余人…。それから50年がすぎた“今”、私たちは、戦後に何を待たかと思えば、誰もが、民主主義や平和、豊かさなどを上げるにちががありません。しかし、時代が進展する過程で、合理と効率向上だけが人々の関心事となり、私たち日本人は、最も大切なことを忘れてしまったのではないのでしょうか。それは「他人に対する思いやりと自己犠牲の精神だ」と指摘する識者もいます。また、「若者たちは自らを考える力を失った」と訴える人もいます。

時代は、常に、新しく進展していきますが、私たちは“今”を築いてきた歴史の上に立って生きています。その歴史の一コマに、今ある平和を築くため、血みどろな戦争の戦火に倒れた多くの犠牲者があった事実を、私たちは忘れてはなりません。

この映画は、米軍機B29の爆撃で焼土と化しつつあった日本の惨状を、自らを犠牲にして救おうと、神風特攻隊に志願していった青年たちの苦悩と慟哭の事実を描いたものです。主演は坂上忍。また、主人公を囲む演技陣の多くは、同映画製作にあたり、“あすなる”が全国に呼びかけて集まった約500人の公募者から厳選した人々が出演。監督は、あすなる映画第一弾「愛が聞こえますか」、第二弾「タケオの夏」、第五弾「ガラスの思春期」でメガホンを握ったベテランの大塚莞爾さん。同監督は、映画「新雪」でデビューして以来30年のキャリアを誇る映画人。脚本は、時代の流れに深い洞察力を持ち、スクリーンへの感動を創造することに意欲を燃やす井上誠吾さんです。現代社会の中には、「今、何を求めて生きるべきか」判断のつかないからだちが充滿する反面、無気力、無関心、無感動、あるいは自暴自棄にならざるを得ない条件が多すぎます。あすなる映画「最後の特攻隊・八月の暑い空」は、戦禍の中で生きた青年像をふりかえりながら、現代に生きる私たちに「人間が人間として生きるということとは何か…」を、時代を超越して強く訴えかけています。

あらすじ

昭和16年日本は太平洋戦争に突入。翌年、B29による東京空襲、の恐怖に晒され始めようとしていた。農家の長男で学生の勇一（坂上忍）と学校の先生の娘・綾子（廣田好美）の出会いが、その頃であった。昭和18年5月、アッツ島の日本軍全滅に続き、戦局はますます深刻な状況となり10月には学徒徴兵による出陣が始まった。

勇一と綾子、二人の行く手にも空襲がおそいかかる。猛火の中をなんとか逃げきる二人…。そして、いつしか結婚を意識するようになる。

ある日、勇一の家召集令状が届く、言葉もなく佇む両親（本田博太郎・小川知）。勇一は、綾子にも令状が来たことを告げ基地へと向かう。第724空部隊配属となり、同級生の五十嵐（鈴木秀明）とも出会うが、初日から、中尉に、「恋愛やシャバっ気はなくせ」といわれ殴られてしまう。あげくに、特攻を志願せねばならない状況におかれることになる。



キャスト



小川 妙原	知子 山本	山田 耕治	城田 洋介	後藤 宏美	中村 美佳
川原 上	山本 孝代	横田 和積	松本 信一	萩村 田	石坂 結久
岡村 誠	内田 智也	吉村 龍	平 基	神 陽	但 木
佐久間 勇三	山田 順博	西村 龍	高 中	口 智大	中 藤
阿部 純	森 優	黒 龍	木 法	藤 寛	田 武
真田 亮宏	大井田 潔	岡 哲彦	佐 貴直	結 城	佐 淳
田中 真紀子	高山 ちあき	岡 廣	山崎 トナミ	見留 ナカ	田 花
小森 かおる	頼母木 玲奈	岡 幸文	宮 山	建 田	田 花
奥村 和利	山藤美千代	岡 幸文	関 根 英	飯 田	田 花
	金井 則行	岡 幸文		飯 田	田 花

スタッフ

撮影 佐野 哲郎	美術 落合 亮司	編集 大高 勲	進行 田中 康晴	ロケ地協力 群馬県吾妻郡中之条町	協力 日本コグック
嶋田 和宏	山澤 克明	富永美代子	野澤 守	教育委員会	福島音響
小島 健一	澤崎 真樹	山川 繁	藤井 麗子	紀伊白浜 零パーク	日本映機 落合プロ
林 和義	衣 裳 夏紀	神園 浩司	櫻井 隆行		日本照明 東京現像所
内田 浩策	メイク 石垣 昌子	大塚 徹	大川 木求		プロデューサー 瀬沼 勝彦
小沢 均	石川 雅代	松村 和順	後藤 英二		協力プロデューサー 笠倉 隆
井上 幸雄	特効 小宮 高広	山際 知子	劇団あすなる		
柳屋 文彦	スクリーン 渋谷 康子				

製作総指揮 山村 晋平 制作 あすなる映画制作部 制作協力 フィルム・クレセント